



令和7年度 人権教育推進計画

学 校 名	小浜市立口名田小学校		学 校 長 名	城谷 俊臣
学級数7	児童数 71名	教職員13名	人 権 主 任	石橋 秀樹

1. 人権教育目標

学校生活のすべてにおいて自他の人権を尊重し、人権を守るために進んで行動できる児童を育成する。

2. 重点努力目標

- ・様々な人権問題について理解と認識を深め、自らの課題として偏見や差別をなくそうとする態度を育てる。
- ・相手の思いに耳を傾け、相手の立場に立って、思いや考えを理解する力を高める。
- ・体験的な活動や異学年交流活動に積極的に参加し、協力して生活を向上させようとする態度を身に付け、自己有用感を高める。

3. 具体的推進計画

(1) 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間でねらうもの

- 教科の指導において、授業研究に努め、一人ひとりの資質・能力を最大限に伸ばす。
また、主体的学習態度と多様性を受容する態度を身につけさせる。
- 特別の教科道徳の指導を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。また、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的、多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- 特別活動を通して、集団の中で児童がお互いに認め合い、助け合い、一人ひとりの願いや要求をみんなの課題としてとらえ、協力して実現していく教育活動を目指す。
- 総合的な学習の時間では、友だちや地域の人との関わりを通して、相手のよさに気づき、よりよい人間関係を育成することを目指す。
- 体験活動後の振り返りを通して、互いに助け合う集団であったかを評価し合う。

(2) 教職員の研修

- LGBTQやSNS差別など、新しく出てきた人権課題も含めて理論実践についての共通理解を図り、自分自身の人権意識を磨く。
- 全教職員が学校生活全体の中で人権教育を推進する実践力をつけるために研修を重ねる。

(3) 全校児童に対する取組

- 日々の学校生活や学級活動を通して、多様性を認めた思いやりある学級・学校づくりに取り組む。
- 学校生活アンケートや教育相談などで児童の生活の実態を把握する。
- 人権週間の取組や拉致問題啓発学習等、人権意識を高める取組を設定する。
- 障がい理解学習を設定し、特別な支援を必要としている人や特別支援学級への理解を促す。
- 地域ふれあい交流活動による体験を通して、集団の一員としての自己有用感を高める。

(4) 保護者に対する取組み

- 家庭地域との連携を深める。
・PTA各委員会での啓発活動や広報による啓発活動 ・授業参観や学級懇談会における話し合い
・教育相談アンケート ・学校便り ・学級通信 ・連絡帳や電話による連携 ・家庭訪問

(5) 人権教育研修計画

月	研修課題・内容	対象	講師・資料等
4月	人権教育全体計画・推進計画の作成と検討	教員	教育計画・人権教育の手引き等
6月	Q-Uアンケート①考察	教員	Q-Uアンケート結果
7月	教育懇談会①	保護者	
8月	人権教育校内研修	教員	外部講師・人権教育担当
10月	Q-Uアンケート②考察	教員	Q-Uアンケート結果
11・12月	人権週間の取組の立案・実施	教員・児童	道徳・学活・委員会等
12月	教育懇談会②	保護者	
2月	本年度の人権教育のまとめ 次年度への方向付け・学校評価考察	教員	教育計画・学校評価
通年	学校生活アンケート・自己チェック	教員・児童	学校生活アンケート 教育相談アンケート

- ・毎月の職員会議において気にかかる児童についての話し合いをもち、児童理解に努める。
- ・学期に1回、教育相談を実施し、児童理解に努める。
- ・Q-Uアンケートの実施・考察により、児童理解の実態把握に努め、学級経営に生かす。
- ・毎月、学校生活アンケートを実施し、児童のいじめ早期発見と対応に努める。